

# 教 師 ノ ー ト

日付	2013年12月29日
単元	クリスマス(年末感謝)
テーマ	賛美と感謝
タイトル	賛美と感謝
テキスト	マタイ15:29-39
参照箇所	
暗唱聖句(教会で使用している聖書訳を記入して下さい)	詩篇103:2
AG 日曜学校教案参照箇所 (リンクできます)	

## □導入

先週は一緒にクリスマスをお祝いすることができました！今日は、今年最後の日曜日です。1年間を振り返っていきましょう。この1年間、みんなが「嬉しいなあ」と思うことを5つあげて、ワークブックに書いてみよう。そして「このことはちょっと残念だったなあ。嫌だったなあ」と思うことも3つぐらいワークブックに書いてみよう。

## □ポイント1 人々はイエスさまがして下さったことを見て、神さまを賛美しました(29-31節)

ガリラヤ湖を見下ろせる山の上でイエスさまが座っていると、たくさんの人たちがイエスさまのところへ体の不自由な人や病気の人を連れてきました。イエスさまは連れてこられた体の不自由な人や病気の人を癒されました。話せなかった人が話せるようになり、足の不自由な人も元気に歩けるようになり、目の見えなかった人が見えるようになったのです！多くの人々は、イエスさまがいやされた奇跡を見て神さまを賛美しました。

⇒今年1年間、「これは神さまがして下さったことだなあ」と思うことがあるでしょう。さっきワークブックに書いた「嬉しいなあ」と思うことを与えて下さったのは神さまです。目には見えないけれど神さまは確かに生きておられ私たちのために働いて下さっていました。〇〇君には神さまはお休みしていたってことはありません。私たちの神さまは眠ることもなく、まどろむ(ねむくなる)こともなく、今年1年間も私たちを守って下さっていました(詩篇121:4)。神さまがして下さった感謝を数えて、神さまに賛美をささげましょう！

## □ポイント2 イエスさまは人々をかわいそうに思いました(32-34節)。

多くの人々がイエスさまと3日間も一緒にいましたが、山の上なので食べる物がなくなってしまったようです。イエスさまはみんなのお腹がすいている様子に気づいてかわいそうに思われました。弟子たちに話しをすると、弟子たちは「こんなへんぴなところで、こんなに大勢の人に食べさせるパンはありません」と言いました。イエスさまが尋ねると、そこには7つのパンと少しの魚があっただけでした。

⇒イエスさまは「かわいそうに」と思って下さるお方です。私たちが自分でどうにも出来なくて困っていること、悩んでいること、失敗してしまったこと、辛かったこと、そういうことに対して「どうして出来ないんだ。だから駄目なんだ」と言わずに、「かわいそうに」と思って下さる優しいお方です。

## □ポイント3 イエスさまは、7つのパンと少しの魚を感謝してさきました(35-39節)

イエスさまは群衆をその場に座らせました。そして7つのパンと少しの魚をとって感謝をしてさきました。そして弟子たちに手渡すと、弟子たちはそれらを入る人々に配り始めました。するとそこには男の人だけで4000人ぐらいいたのですが(女の人と子どもを入ると1万人ぐらいいたかもしれません)、不思議な

ことにみんなは弟子たちが分けるパンと魚を食べてお腹がいっぱいになったのです。そしてパン切れのあまりを集めてみると7つのかごにいっぱいになりました。

質問: どうして男の人だけで4000人もいたのに、7つのパンと少しの魚でみんながお腹いっぱいになったと思いますか？

⇒イエスさまが感謝をささげて分けてくれたから  
「7つのパンと少しの魚しかない」ではなく、「7つのパンと少しの魚がある」と今与えられているものに目をとめて神さまに感謝を捧げていく時、神さまは素晴らしいことをして下さいます。

□結論 イエスさまがしてくださったことを喜び賛美してほめたたえましょう。また「嫌だなあ」と思うことの中にも少しの感謝でも探していきましょう。

暗唱聖句を読み上げます

□適用（聞き手に最もふさわしい適用が与えられるように祈りましょう）

- (1) 今年1年間もいろいろあったと思います。ワークブックに書いた「嬉しかったこと」を与えて下さったのは神さまです！それらひとつひとつを与えて下さった神さまをほめたたえましょう。
- (2) 今年1年間の中で「残念だなあ。嫌だったなあ」と思うことがあるかもしれません。イエスさまもそのことを「かわいそうに」と心配して下さいます。イエスさまは私たちの悲しみをほおっておけない憐れみ深いお方です。
- (3) 今年1年間の中で「残念、嫌だなあ」と思うことの中に、「7つのパンと少しの魚」のようにその時は不十分に見えても、少しだけ感謝できることはありませんか？その小さな感謝を探し出して神さまに感謝していくと、「嫌だなあ」と思うことをイエスさまは「感謝だなあ」と言えることに変えてくれます。